

巻頭言

ポリオ友の会東海 神田公弘

コロナウイルス感染も 3 年目にしてやっと落ち着いてきました。しかし、外を見渡すとまだまだマスクをしている人のほうが多い感じです。ポリオの会の交流会も久しぶりに開催できるようになりました。もうこんな状況は繰り返してほしくありませんね。

定年後、少しずつ貯金を増やして 5 年目で今後の生活を考えて自宅マンションをバリアフリー化するリノベーションをすることにしました。室内にはいくつか段差があり危なくなってきたため、まずは段差をすべて無くしてフラットにすることを中心としてリホーム計画を開始しました。

しかし、この段差解消は想像以上に大変で、フラット化のための床上げをすると、サッシ、ドア、建具、風呂、キッチンなど結局すべて取り換えるいわゆるスケルトンリホームとなってしまいました。

計画半年、そしてリホームのための仮住まいへの引っ越し。仮住まいは近くに空き家となった戸建て住宅が結構増えており、格安で戸建て住宅が借りられたので引っ越しました。引っ越してみても筋力が衰えてきてから一戸建てに住むのは結構大変なことが分かりました。

まず玄関に行くまでの階段です。戸建ては最初からバリアフリー想定でスロープなど考慮して建てないと、どうしても何段か階段があります。

（どこを見ても浸水を避けるため、玄関まで 3～10 段程度の階段があり段差のない家はありません。）ただ、今回お借りした家は室内が段差の無いバリアフリー化された造りになっており助かりました。というわけで、現在もまだ工事進行中で仮住まいをしております。



浴室の段差も解消してフラットに

床を段差無しのフラットにして、扉も引き込み戸にして手すりを付けました。

（引き戸は、引き込み戸にすると手すりを付けられる箇所を増やせます。）
まだ完成していないので、工事途中です。